

残念な出来事

昨日、6月8日（水）の出来事です。1校時が始まる前に梅香館の屋根で爆竹が鳴りました。このような行為・悪ふざけは絶対に許されません。この悪戯をしたのは、少なくとも本校の生徒の中にいるということも非常に残念で気分が落ち込みました。

爆竹を鳴らすということは、火を使わなければ鳴らすことができません。付近にはライターとタバコの吸い殻が落ちていました。「火」を使っているのですから、ひとつ間違えると大変なことになります。

学校は「安心・安全」な所で、生徒のみんなが学習や様々な活動をし成長していく場であります。今後二度とこのようなことが起こらないようにと、緊急集会を2校時始めに持ちました。生徒指導主事の森本先生から全校生徒に向け次のようなことを生徒に呼びかけました。

- ・生徒全員の生命を危険にさらすような行為は絶対に許されない。
- ・こうしたことを許さない学校の雰囲気（ムード）をつくる。「折れない真っ直ぐな心」を持ってほしい。

さて、先日、講演会で聴いて、なるほどなと思ったので紹介します。

これは「子育て 親育て 6カ条」と言われていました。参考になれば・・・

- 1 あいさつは 親から
 - ・ 『おはよう』は 朝一番の挨拶である
 - ・ 『ありがとう』『ごめんなさい』『失礼します』は 人間関係の基本である
- 2 礼儀やマナーのしつけは 家庭から
 - ・ 『感謝する お互いを認め合う 人に迷惑をかけない』
 - ・ 正しい善悪の判断基準を教えるのは 家庭である
- 3 子どもの「心の居場所」は 家庭のなか
 - ・ 気持ちよい一日のスタートで 子どもは安心して学校に行く
 - ・ 子どもの『年齢にあった自己解決能力』は 家庭で育つ
- 4 子どもの心の余裕は 親の心の余裕から
 - ・ 親子一緒にのバランスある食卓文化は 子どもの心を育てる
 - ・ 『生活習慣の乱れ』は心の乱れ 『ことばの乱れ』は心の乱れである
- 5 厳しさは まず親（大人）に向けられる
 - ・ しつけをするために『叱る』こと 自己の都合で『怒る』ことは厳禁である
 - ・ 親自身が 学校行事やPTA活動・地域活動に積極的に参加して学ぶ
- 6 親を大切にすることは 自分を大切にすること
 - ・ 親を大切に思う心や態度は 子どもに伝わる
 - ・ 社会貢献の姿勢や マナー・ルールを守る姿勢などの手本を見せる

